



### 12/21

#### ここ来ると友だちに会える

こども広場（さんぼく会館）

気軽に子どもたちが集う場として、月に2回土曜日に遊び場所を開放している「こども広場」。指導員から教わって、お菓子作りやレクリエーションなど、友達に囲まれて楽しい時間を過ごします。

この日は、紅白のだんごや干支の「ねずみ」をかたどった折り紙をだんごの木に飾りました。参加した子どものお母さんは「家で兄弟と遊ぶことが多いのですが、ここ来ると友だちに会えるので、毎回楽しみに参加しています」と話していました。



▲だんごの木飾りをつくる子どもたち

### 12/21

#### 荒川中学校が最優秀賞を獲得！

国際理解教育プレゼンテーションコンテスト（新潟市朱鷺メッセ）



▲ベナンの子ども達と国際協力

「国際理解」について発表を行うコンテストに出場した荒川中学校の“AB 5”チームが見事、最優秀賞を受賞しました。

チームは、ベナンの子どもたちが貧困の連鎖から脱却するために中学生としてできることに取り組み、ベナンの布「パーニュ」を使って製品を作り、荒川商工祭で販売したり、全校生徒から集めた文房具をベナンの子どもたちに届けたりしたことなどを発表しました。

チームメンバーの一ノ瀬唯斗さんは「ベナンの子どもたちと繋がれたことがとても嬉しかった。初めて経験することが多く、自分自身が大きく成長できたと思います」と話していました。

### 12/28

#### 木材加工作部門で全国大会準優勝

第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会（兵庫県）

「ものづくり甲子園」として知られる「高校生ものづくりコンテスト」の全国大会に出場した板垣幹さん（中継）が木材加工作部門で見事準優勝し、集落で祝賀会が開かれました。

県立新津工業高校2年生の板垣さんは日本建築学科に入学してから着々と実力をつけ、昨年度の県大会で優勝、今年度2連覇すると、続く北信越大会で優勝、全国大会で準優勝を果たしました。祝賀会で板垣さんは「準優勝で悔しい。来年こそは優勝します」と力強く決意を語ってくれました。



▲北信越大会の優勝作品と板垣幹さん

### 1/11

#### 大切な“第2のふるさと”ができました

お母さん知恵袋プロジェクト報告会（神林農村環境改善センター）



▲約2カ月ぶりの再会に笑みがこぼれる参加者

関係人口創出・拡大事業「お母さん知恵袋プロジェクト」の冊子完成報告会とお茶会を開催しました。

昨年10月から始まり、延べ3カ月間を振り返ったプロジェクトの参加者は、お母さん方から「いつまでも待っているから、いつでも帰っておいで」と声をかけられていました。

短期インターン生にとって、神林地区が第2のふるさととなり、いつでも帰って来られる場所になったようでした。

1/12

## 火災、災害の無い一年を願い

村上市消防出初式（教育情報センター）



新春恒例の「村上市消防出初式」が消防関係者により行われました。

小雨の降る中に行われた分列行進・車両パレードでは、中山団長を先頭に女性消防団員の「つくし隊」、各方面隊の消防団がキビキビとした動作で力強い行進を披露。

その後、屋内で行われた式典では、今期で退任する中山団長から消防団員に向けて「まずは安全第一で活動にあたってほしい」と年頭の訓示がありました。



▲中山団長を先頭に行進

1/12

## 11チームが熱戦

第37回新春バレーボール大会（朝日総合体育館）



▲アタックやブロックなど、激しいラリーの応酬

この大会は、朝日地区の新春を彩るインドアスポーツの草分け的な大会であり、今回で37回目を数えます。市内外から参加した11チームは予選で3ブロックに分けられ、勝ち上がった6チームがトーナメントにより栄冠を競い合いました。

参加したおよそ120人の選手は力の限りを尽くし、寒さを吹き飛ばすほどの熱戦を繰り広げていました。

【大会結果】 優勝：スパナーズA  
準優勝：さたか

1/12

## 一年の無病息災を願う

どんど焼き（上助測集落）

毎年各地で小正月に伝統行事の「どんど焼き」や「左義長ひだりよしか」などが行われます。

今年も上助測集落で恒例の「どんど焼き」が行われ、小学生とその保護者が、集落の各世帯を回り、正月飾りや書き初めの習字などを集めました。

火入れの時間になると、地域住民が集まり、持ってきたすめや餅を焼いて食べ、今年一年の無病息災と住民同士の交流を図りました。



▲今年は珍しく雪がない「どんど焼き」

1/15

## 卒園をお祝いして

コサージュ作り（シルクフラワー製作工房）



▲オレンジや紫など、色とりどりのコサージュができました

毎年、朝日地区の保育園では、保護者が手作りしたまゆのコサージュを身に着け卒園式に臨みます。

この日は、猿沢保育園の保護者15人が集まり、朝日シルクフラワー製作工房の横井栄子さんの手ほどきを受け、色とりどりのまゆ玉から思い思いのコサージュを作りました。

出来上がったコサージュは、子どもへの感謝やエールが書かれたメッセージカードも添えられ、卒園式当日に園児へ贈られます。